第４章　宅地内給水装置等修繕工事

第１．総　　則

１．適 用 基 準

包括工種に含まれる各々の工種及び積算の考え方について、特段の記載がないものについては、本基準書「１ 積算資料編」及び「２ 基礎積算編」の他、「水道事業実務必携（全国簡易水道協議会）」又は「国土交通省土木工事標準積算基準書」に準拠する。

２．積算の考え方

（１） 単価契約の場合の積算

ア．請負工事費明細書（単価契約）に記載の各工種（以下「各工種」という）において、別途定める共通仮設費率、現場管理費率、一般管理費等率を諸経費対象額に乗じて計上し、各工種の単価を算出する。なお、間接工事費の算出については、工種区分を「開削工事及び小口径推進工事」とし、施工地域区分による補正は「なし」とする。

イ．各工種における、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等は１円単位とし、１円未満は切り捨てる。

ウ．各工種の単価は10円単位とし、10円未満は切り捨てる。

エ.時間的制約を受ける場合の設計労務単価の補正割増については、昼夜間共に「割増なし」とする。また、休日作業の割増は、適用除外とする。

オ.「その他材料」は、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等計上の対象としない。

カ.管材費については、「１　積算資料編」による。

第２．代　価　表

１．修　繕　工

（１）　給水装置修繕工（宅地内）

ア．管継手工（５０mm以下）は、「６－１　２．基礎単価（１１）管継手工」によるものとする。

イ．管布設工（ビニル管）は、「６－１　２．基礎単価（３）管布設工（ビニル管）」によるものとする。

ウ．管布設工（鋳鉄管）は、「６－１　２．基礎単価（４）管布設工（鋳鉄管）（ＫＳ形）」によるものとする。

エ．止水栓上部取替工は、「６－１　２．基礎単価（１５）止水栓上部取替工」によるものとする。

オ．メータ取付工は、「６－１　２．基礎単価（１６）メータ取付工」によるものとする。

カ．管継手修繕工は、「５－５　１．（２）ア．管継手修繕工（土工なし）」によるものとする。ただし、「ポリエチレンスリーブ取付工」は適用しない。

キ．標準数量表

５０mm以下（A）　（１箇所当り）

工　種	形　質　寸　法	単位	数量
人力掘削（人力床掘）	土砂、現場制約あり	m3	0.10
人　力　埋　戻	現場制約あり、土砂、締固め有・流用土	m3	0.10
管継手工（５０mm以下）		箇所	2.00
管布設工（ビニル管）	２５mm	m	1.00
諸　雑　費	端数処理	式	1

５０mm以下（B）　（１箇所当り）

工　種	形　質　寸　法	単位	数量
管継手工（５０mm以下）		箇所	2.00
管布設工（ビニル管）	２５mm	m	1.00
諸　雑　費	端数処理	式	1

５０mm以下（C）　（１箇所当り）

工　種	形　質　寸　法	単位	数量
止水栓上部取替工		箇所	0.50
メータ取付工		箇所	0.50
諸　雑　費	端数処理	式	1

５０mm以下（D）　（１箇所当り）

工　種	形　質　寸　法	単位	数量
特殊作業員（配管）		人	0.01
諸　雑　費	労務費の１０％＋端数処理	式	1

７５mm以上（A）　（１箇所当り）

工　種	形　質　寸　法	単位	数量
人力掘削（人力床掘）	土砂、現場制約あり	m3	1.40
人　力　埋　戻	現場制約あり、土砂、締固め有・流用土	m3	1.40
管継手修繕工	φ１５０以下	箇所	1.00
管布設工（鋳鉄管）	７５mm（ＫＳ形）	m	1.00
諸　雑　費	端数処理	式	1

７５mm以上（B）　（１箇所当り）

工　種	形　質　寸　法	単位	数量
管継手修繕工	φ１５０以下	箇所	1.00
管布設工（鋳鉄管）	７５mm（ＫＳ形）	m	1.00
諸　雑　費	端数処理	式	1

（２）　給水装置取替修繕工（宅地内）

ア．管布設工（ビニル管）は、「６－１　２．基礎単価（３）管布設工（ビニル管）」によるものとする。

イ．管布設工（鋳鉄管）は、「６－１　２．基礎単価（４）管布設工（鋳鉄管）」によるものとする。

ウ．標準数量表

５０mm以下（A）　（１m当り）

工　種	形　質　寸　法	単位	数量
人力掘削（人力床掘）	土砂、現場制約あり	m3	0.10
人　力　埋　戻	現場制約あり、土砂、締固め有・流用土	m3	0.10
管布設工（ビニル管）	２５mm	m	1.00
諸　雑　費	端数処理	式	1

５０mm以下（B）　（１m当り）

工　種	形　質　寸　法	単位	数量
管布設工（ビニル管）	２５mm	m	1.00
諸　雑　費	端数処理	式	1

７５mm以上（A）　（１m当り）

工　種	形　質　寸　法	単位	数量
人力掘削（人力床掘）	土砂、現場制約あり	m3	1.00
人力埋戻	現場制約あり、土砂、締固め有・流用土	m3	1.00
管布設工（鋳鉄管）	７５mm（ＫＳ形）	m	1.00
諸雑費	端数処理	式	1

７５mm以上（B）　（１m当り）

工　種	形　質　寸　法	単位	数量
管布設工（鋳鉄管）	７５mm（ＫＳ形）	m	1.00
諸雑費	端数処理	式	1

（3） 制水弁修繕工

ア．制水弁修繕工は、「６－１　２．基礎単価（１３）制水弁修繕工」によるものとする。

イ．標準数量表　（１箇所当り）

工　種	形　質　寸　法	単位	数量
人力掘削（人力床掘）	土砂、現場制約あり	m3	1.17
人力埋戻	現場制約あり、土砂、締固め有・流用土	m3	1.04
制水弁修繕工		箇所	1.00
弁室類築造工（レジンコンクリートブロック）	制水弁室φ300以下（浅埋用）据付・撤去、基礎砕石有	箇所	1.00
諸雑費	端数処理	式	1

（4） 制水弁取替工

ア．制水弁取替工は、「６－１　２．基礎単価（１２）制水弁取替工」によるものとする。

イ．標準数量表　（１箇所当り）

工　種	形　質　寸　法	単位	数量
人力掘削（人力床掘）	土砂、現場制約あり	m3	1.30
人力埋戻	現場制約あり、土砂、締固め有・流用土	m3	1.17
制水弁取替工		箇所	1.00
弁室類築造工（レジンコンクリートブロック）	制水弁室φ300以下（浅埋用）据付・撤去、基礎砕石有	箇所	1.00
水替工（１）	作業時排水（発動発電機）、可搬自給式φ50、全揚程５m、１台	日	0.06
		現場	1
諸雑費	端数処理	式	1

（5） 止水栓設置工

ア．管布設工（ビニル管）は、「6－1 2．基礎単価（3）管布設工（ビニル管）」によるものとする。

イ．ビニル管継手工は、「6－1 2．基礎単価（2）ビニル管継手工」によるものとする。

ウ．標準数量表

宅地内25mm以下 （1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量
人力掘削（人力床掘）	土砂、現場制約あり	m3	0.10
人力埋戻	現場制約あり、土砂、締固め有・流用土	m3	0.10
止水栓取付け	VP用25mm、接合及び止水栓ボックス取付	箇所	1.00
管布設工（ビニル管）	25mm	m	1.00
ビニル管継手工	25mm	箇所	2.00
諸雑費	端数処理	式	1

宅地内40mm以上 （1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量
人力掘削（人力床掘）	土砂、現場制約あり	m3	0.10
人力埋戻	現場制約あり、土砂、締固め有・流用土	m3	0.10
止水栓取付け	VP用40mm、接合及び止水栓ボックス取付	箇所	1.00
管布設工（ビニル管）	40mm	m	1.00
ビニル管継手工	40mm	箇所	2.00
諸雑費	端数処理	式	1

（6） 止水栓撤去工（埋金使用）

ア．止水栓撤去工は、「6－1 2．基礎単価（8）止水栓撤去工」によるものとする。

イ．止水栓用埋金13～25mm【管材費対象】は、「止水栓用埋金13mm・20mm・25mmの各単価の平均とする。

ウ．標準数量表

25mm以下 （1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量
止水栓撤去工		箇所	1.00
止水栓用埋金	13～25mm	個	1.00
諸雑費	端数処理	式	1

（7） メータ移設工

ア．管布設工（ビニル管）は、「６－１ ２．基礎単価（3）管布設工（ビニル管）」によるものとする。

イ．鉛管継手工は、「６－１ ２．基礎単価（1）鉛管継手工」によるものとする。

ウ．メータ取付工は、「６－１ ２．基礎単価（１６）メータ取付工」によるものとする。

エ．標準数量表

２５mm以下 （１箇所当り）

工　種	形　質　寸　法	単位	数量
人力掘削（人力床掘）	土砂、現場制約あり	m3	0.40
人　力　埋　戻	現場制約あり、土砂、締固め有・流用土	m3	0.40
管布設工（ビニル管）	２５mm	m	4.00
鉛　管　継　手　工	２５mm以下	箇所	1.00
止　水　栓　取　付　け	ＶＰ用２５ｍｍ、接合及び止水栓ボックス取付	箇所	1.00
メ　ー　タ　取　付　工		箇所	1.00
普　通　作　業　員		人	0.50
諸　雑　費	端数処理	式	1

４０mm （１箇所当り）

工　種	形　質　寸　法	単位	数量
人力掘削（人力床掘）	土砂、現場制約あり	m3	0.60
人　力　埋　戻	現場制約あり、土砂、締固め有・流用土	m3	0.60
管布設工（ビニル管）	４０mm	m	6.00
鉛　管　継　手　工	３０～５０mm	箇所	1.00
止　水　栓　取　付　け	ＶＰ用４０mm、接合及び止水栓ボックス取付	箇所	1.00
メ　ー　タ　取　付　工		箇所	1.00
普　通　作　業　員		人	0.50
諸　雑　費	端数処理	式	1

（8） 調査工（宅地内給水装置等修繕）

ア．本工種は、一般管理費等のみ対象とする。

イ．標準数量表 （１回当り）

工　種	形　質　寸　法	単位	数量
特殊作業員（配管）		人	0.09
諸　雑　費	労務費の１０％＋端数処理	式	1

（9） 調査工（メータ位置改良及び止水栓整備）

ア．本工種は、一般管理費等のみ対象とする。

イ．標準数量表 （1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量
特殊作業員（配管）		人	0.25
軽作業員		人	0.25
諸雑費	端数処理	式	1

（１０） 調査掘削工（宅地内給水装置等修繕）

ア．標準数量表 （1箇所当り）

工種	形質寸法	単位	数量
人力掘削（人力床掘）	土砂、現場制約あり	m3	0.10
人力埋戻	現場制約あり、土砂、締固め有・流用土	m3	0.10
諸雑費	端数処理	式	1

（１１） 宅内モルタル復旧工

「６－２ 第２ ３．（9）宅内モルタル復旧工」によるものとする。

（１２） 宅内タイル復旧工

「６－２ 第２ ３．（１０）タイル復元工」によるものとする。

（１３） 私設アスファルト舗装復旧工

「６－２ 第２ ２．（１３）表層アスファルト工」によるものとする。

（１４） 私設コンクリート舗装復旧工

「６－２ 第２．２．（１１）私設コンクリート舗装復旧工 Ｃｏ厚５ｃｍ」によるものとする。

（１５） 待機工

ア．待機工における人員構成は下表のとおりとする。

職種	人数	補正人数
軽作業員（連絡員）	1人	1.0人
特殊作業員（配管）	1人	0.5人
普通作業員	1人	0.5人

・軽作業員は連絡員とし、全時間帯で受付するため常時待機とするが、携帯電話等で連絡をとることを前提に、作業補助をするものとする。

・連絡員以外の人員は、稼働実績を考慮し、人数に補正係数（0.5）を乗じる。

・労務構成比は、割増対象賃金比／8ｈとする。

イ．本工種は、一般管理費等のみ対象とする。

ウ．標準数量表（１日当り）

なお、工種単価は金額合計の有効数字４桁（５桁目切上げ）とする。

昼間（9:00～17:30）

職　　種	算出式
軽作業員（連絡員）	労務単価（昼）×8.5ｈ／9ｈ×1.0人
特殊作業員（配管）	労務単価（昼）×8.5ｈ／9ｈ×0.5人
普通作業員	労務単価（昼）×8.5ｈ／9ｈ×0.5人

夜間（17:30～2:30）

職　　種	算出式
軽作業員（連絡員）	労務単価（昼）×（1.0×2.5ｈ＋1.5×6.5ｈ）／9ｈ×1.0人
特殊作業員（配管）	労務単価（昼）×（1.0×2.5ｈ＋1.5×6.5ｈ）／9ｈ×0.5人
普通作業員	労務単価（昼）×（1.0×2.5ｈ＋1.5×6.5ｈ）／9ｈ×0.5人

夜間（2:30～5:00）

職　　種	算出式
軽作業員（連絡員）	労務単価（昼）×1.5×労務構成比×2.5ｈ×1.0人
特殊作業員（配管）	労務単価（昼）×1.5×労務構成比×2.5ｈ×0.5人
普通作業員	労務単価（昼）×1.5×労務構成比×2.5ｈ×0.5人

夜間（5:00～9:00）

職　　種	算出式
軽作業員（連絡員）	労務単価（昼）×1.25×労務構成比×4.0ｈ×1.0人
特殊作業員（配管）	労務単価（昼）×1.25×労務構成比×4.0ｈ×0.5人
普通作業員	労務単価（昼）×1.25×労務構成比×4.0ｈ×0.5人